

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出		
予算額	34,852 千円	新規・充実・継続の別	充実
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>これまで、より多くの子どもたちが優れた文化芸術に触れる機会を設けることにより、豊かな感性や人間性を育むとともに、伝統的な文化芸術をはじめとする京都の文化芸術を自分の言葉で国内外の方に伝え、発信できる青年層を育成することを目指し、「文化芸術授業（ようこそアーティスト）」と、「伝統公演授業（ようこそ和の空間）」を一体的な取組として実施してきた。</p> <p>参加者アンケートの結果から、子どもたちの文化芸術に触れる機会が少ない実態や、本授業を受けたことによる文化芸術の興味・関心の向上が見られることから、本事業の有効性を確認しており、今後、子どもたちに優れた文化芸術に触れる機会を広く提供するため、未実施校の掘り起こし等、より多くの学校等での実施が求められる。</p> <p>そこで、「文化芸術授業（ようこそアーティスト）」について、実施校・園等を令和元年度の46箇所に加え、令和2年度は20箇所程度増やすとともに、今後の拡充に備えた実施体制づくりに取り組む。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>2つの事業を一体的な取組として実施し、子どもたちが優れた文化芸術に触れる機会を創出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 文化芸術事業（ようこそアーティスト） 一流の芸術家を小・中学校等に派遣し、ワークショップ等を実施する。 令和2年度は、実施校・園等を20箇所程度増やす。 伝統公演授業（ようこそ和の空間） 中学生を対象に、能楽堂等の本格的な文化芸術の舞台上で伝統芸能公演を鑑賞してもらう。 			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都芸術センターバージョンアップ事業		
予算額	2,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都芸術センターでは、若い世代の芸術家の制作活動の支援や芸術文化に関する情報の収集と発信等に取り組んでおり、これまで、国内外で活躍する新進アーティストやアートマネジメント人材の輩出、国内外の団体・施設とのネットワークを生かした市民とアーティスト、アーティスト同士の交流の促進等、様々な成果を上げている。</p> <p>開設から20年が経過することを契機に、文化庁の京都移転や本市における文化を基軸としたまちづくりの推進など、社会環境の変化にしなやかに対応できる施設へのバージョンアップを目指し、これまでも増して魅力的な事業を展開する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>京都芸術センターの創造的な取組を広く市民に認識していただき、市民と文化芸術活動の距離を縮めて身近なものにしていくとともに、京都芸術センターを中核拠点とした文化芸術による多様性を尊重する社会の実現を目指すことで、文化を基軸としたまちづくりを推進する。</p> <p>○ 主な事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クロスジャンルパフォーマンス（4月） これまで京都芸術センターが取り組んできた「様々な分野の文化芸術の創造」を成果として見せる事業を開催。異分野の文化芸術の融合による新しい創造の発信により、市民等の新たな興味・関心に結びつける。 ・ 夏休み芸術体験劇場（8月） 多くの人が参加しやすい8月に、文化芸術と市民の接点となる場づくりとしての事業を実施する。これにより京都芸術センターがより市民に身近な存在として認識され、文化芸術が市民に浸透していくことを目指す。 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都国際舞台芸術祭(KYOTO EXPERIMENT)		
予算額	47,000 千円	新規・充実・継続の別	充実
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>京都国際舞台芸術祭は、平成16年～21年度の6年間にわたって行われた、京都芸術センターでの事業「演劇計画」を前身として、京都、日本、世界の先駆的・実験的な舞台芸術を紹介することを目的に平成22年(2010年)から開催している。</p> <p>国内外の多様な舞台芸術祭、アーティストと連携する、世界の舞台芸術の動向を概観できる国内有数のフェスティバルである。</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <p>「京都文化の<現在>を世界に発信する、新たな文化資源としての国際フェスティバルを目指す」ことを基本理念とし、次世代の人材育成や本市の重要事業との連携など、京都の未来を見据えて展開。国内外の先駆的な舞台芸術を紹介する世界的な芸術祭として、ロームシアター京都や京都芸術センター等、市内各地で開催する。</p> <p>令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピックに合わせて開催される「日本博」とも連携し、海外の若年層や留学生に向けて、伝統文化のみならず京都の現代的な文化やアートシーンに触れていただく場の提供や、大学との連携プロジェクトを実施する。</p> <p>実験的・現代的な舞台芸術を取り上げる本芸術祭が、今日的な「京都」文化のハブとなり、新たな若い世代と京都をつなぐ架け橋となることを目指す。</p> <p>なお、本事業は、文化庁が進める「日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業」の補助金を活用し実施する。</p>			
<p>〔参 考 (他都市の状況・事業効果など) 〕</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	KYOTO STEAM－世界文化交流祭－		
予算額	170,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>平成29年度から5年間、文化庁の補助事業を活用し、芸・産学公の連携による文化芸術都市・京都の持続的な発展を目指す「KYOTO CULTIVATES PROJECT (キョウト カルティベーツ プロジェクト)」を始動している。京都のアイデンティティ・オリジナリティを發揮し、「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマにした「KYOTO STEAM (※)－世界文化交流祭－」の開催を中心に、人材育成、ネットワーク構築の三位一体の事業に取り組んでおり、地域経済の発展やインバウンドの更なる増加等に資することを目的としている。</p> <p>※ STEAM…Science (科学), Technology (技術), Engineering (工学), Arts (芸術), Mathematics (数学)</p> <p>平成30年度には、京都の芸・産学公の団体から成る「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会」を設立。平成31年3月にはプレ事業として「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－prologue」を開催した。</p> <p>令和元年度は、3年間の成果として、令和2年3月に第1回フェスティバル「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－2020」を開催。「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマにした文化芸術の新たな可能性と価値を提示する、国際的な文化芸術の祭典を開催する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>本プロジェクト4年目となる令和2年度は、アーティストと企業等とのコラボレーションによるアート作品を世界中から募集し展示する「STEAM THINKING－未来を創るアート 京都からの挑戦 国際アートコンペティション2021 (仮称)」を開催するとともに、令和3年度の第2回フェスティバル「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－2022」(仮称)に向けたプレ事業等を実施する。開催時期は、令和3年3月を予定。</p> <p>○ 主なプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ STEAM THINKING－未来を創るアート 京都からの挑戦 国際アートコンペティション2021 (仮称) ・ アート×サイエンス GIG ・ アート×サイエンス IN 京都市動物園 ・ 古典文学×伝統芸能×新技術～CIRQUE de KYOTO～ ・ KYOTO STEAM×MUTEK. JP (仮称) ・ STEAM THINKING LABO ・ OKAZAKI MARKET+ (仮称) ・ Kyoto Cultivates Team ほか 			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都文化カプロジェクト 2016-2020 の実施		
予算額	25,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>平成26年8月に、京都を代表する文化人から、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、世界に日本文化を発信する「京都文化フェア（仮称）」の呼びかけがなされたことを受け、オール京都で文化の祭典を開催するため、平成27年度に基本構想を策定し、平成28年度に市、府、商工会議所等で構成する「京都文化カプロジェクト実行委員会」を設立した。</p> <p>平成28年6月には実施計画（総論）を策定し、「創造する文化 京都から世界へ」をテーマに、平成29年度から令和元年度まで、「舞台芸術(29年度)」「美術・工芸(30年度)」「くらしの文化(元年度)」の3分野について年度ごとに1分野でリーディング事業を実施し、令和2年度は、あらゆる分野の文化プログラムを実施することを定めた。</p> <p>毎年開催する推進フォーラムや機関誌発行のほか、平成29年度は東京都等との共同主催による「東京キャラバン in 京都・二条城」の開催、平成30年度は野外インスタレーション公募展やシンポジウム等を実施した。令和元年度は茶道やいけばなをはじめとするくらしの文化を身近に感じてもらう体験型イベント等を開催している。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>令和2年度はあらゆる分野の文化プログラムを実施するほか、イベントガイド等をはじめとする広報活動、機関誌の発行、ホームページの運営等を行い、京都の文化を国内外に向けて発信する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「京都文化芸術祭2020（仮称）」 <ol style="list-style-type: none"> オープニング・聖火リレー歓迎イベント（5月） 京都市内での聖火リレーセレブレーションに合わせて、京都の文化を発信する事業を実施する。 メインイベント（8月） 市内各所で、国内外からの観光客を含む誰もが気軽に京都の様々な文化を体験できるイベントを開催する。 クロージングフォーラム（10月） ほか これまでの取組を総括するとともに、ワールドマスタースゲームズ2021関西や文化庁移転等を展望して今後の未来像を議論する。 イベントガイドの発行 機関誌の発行 まちじゅうお稽古のポータルサイト等ホームページの運営 ほか 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業		
予算額	16,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>平成29年度「文化芸術で人が輝く社会づくりモデル事業」において、市内外の事例調査及び3つのモデル事業(子どもプロジェクト/LGBTプロジェクト/多文化共生プロジェクト)を実施した。</p> <p>平成30年度は、市内外の事例調査、普及・啓発事業、モデル事業の実施に加え、文化芸術と社会課題をつなぎ、コーディネートする人材の育成や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談事業の在り方の企画、検討を行った。</p> <p>令和元年度からはHAPS*の事業として、市内外の事例調査、普及・啓発事業、モデル事業の実施に加え、相談事業の検討に取り組んでいる。</p> <p>これまでの取組を踏まえ、令和2年度は、HAPS相談機能の拡充や、コーディネーターの育成をはじめ、文化芸術により、社会課題や困難の緩和につなげ、共生社会を実現するための基盤づくりに引き続き取り組む。</p> <p>※ HAPS 東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス。若手芸術家等の居住・制作・発表支援を行う団体として、平成23年9月に設立。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>文化芸術による共生社会の実現に向け、以下の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 相談事業 HAPSの相談機能を拡充し、芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談に対応する。 2 他都市・市内の更なる事例調査 多様な相談に対応し、先進的な事業を実施するため、他都市・市内事例（文化芸術の取組を先駆的に実施している福祉施設、支援団体など）の調査を継続する。 3 普及・啓発事業 芸術家や芸術系大学生、福祉分野の職員等に、社会課題にアプローチするアートプログラムの事例や効果を伝えるための講座を実施する。 4 モデル事業 文化芸術を活用し、社会課題や困難の緩和につながる取組の効果を検証するため、芸術家が福祉施設等と関わり、モデルとなる事業を継続する。 5 コーディネーター育成 文化芸術と社会課題をつなぐ、コーディネーターを育成する。 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都映画賞(仮称)の実施～時代劇の担い手を未来へ～		
予算額	16,000千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都はかつて「東洋のハリウッド」と呼ばれるほど映画文化が興隆し、多くの優れた時代劇を中心とした日本映画とその作り手を生み出してきた。また、映画はこれまで、京都の産業・観光振興、文化の発信に大きな役割を果たしてきた。</p> <p>しかし現在、京都での映画製作本数は大きく減り、「映画のまち・京都」が培ってきた「時代」を再現する衣装や美術、殺陣などの時代劇を支える技術は、その継承が大きな課題となっている。</p> <p>この度、映画の中でも特に時代劇製作に必要な資源が集積している京都で、映画文化の更なる振興、持続可能な担い手育成、国際文化観光都市としての魅力発信に寄与するため、新たに京都映画賞(仮称)を創設する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>京都が培ってきた映画文化の継承と更なる振興を図るとともに、時代劇をはじめとした京都での更なる映画製作につなげるため、京都ならではの時代劇を対象とした新たな顕彰制度を創設する。</p> <p>具体的には、①優れた時代劇作品を表彰する賞(作品賞)、②時代劇の製作技術者など「支える人」にスポットを当てる賞(技術賞)、③未来の時代劇製作を担う「作り手」を支援する賞(奨励賞、令和3年度から実施)の3つの賞を設ける。(各賞の名称は全て仮称)</p> <p>また、受賞の発表と併せて、受賞作品の市民向け上映会も開催する。</p> <p><令和2年度実施スケジュール(想定)></p> <p>4月～5月 京都映画賞(仮称)創設発表</p> <p>8月～10月 各賞審査</p> <p>11月 第1回「作品賞」「技術賞」発表 「奨励賞」創設発表</p> <p>12月 授賞式、受賞作品上映会</p> <p>1月 「奨励賞」募集開始</p>			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	アート市場活性化事業		
予算額	6,500 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>平成29年3月に策定した「第2期京都文化芸術都市創生計画」では、「芸術家の社会的・経済的地位の向上につながる各種取組の推進」を掲げ、これまで芸術家の居住・制作・発表の支援や特性を活かせる仕事のコーディネート、京都の美術系大学生の作品の評価・購入を通じた経済的支援等を行い、京都で継続して芸術活動ができる環境整備に取り組んでいる。</p> <p>令和元年度には、芸術家が創作活動を続ける上で必要となる「制作・発表・販売」の3支援のうち、「販売」に着目したプロジェクトとして「京都市若手アーティスト応援プロジェクト」を立ち上げ、ふるさと納税型クラウドファンディングにより市民・事業者の理解を得ながら、若手アーティストの作品を海外のアートフェアに出展する取組を実施した。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>アート市場の拡大は、若手アーティストの経済的自立につながるとともに、作品発表の場の創出や創作環境の向上にも資するものである。そのためには、若手アーティストの新作を扱う企画ギャラリー(※)の集積と作品を扱うギャラリストの育成が不可欠である。</p> <p>令和2年度は、企画ギャラリーの集積と若手アーティストの創作環境の向上を目指す新たな取組として、企画ギャラリーによる展覧会の開催、国内外アートフェアへの出展を支援する。</p> <p>○支援内容 京都にゆかりのある若手アーティストによる展覧会の開催、国内外のアートフェアへの出展補助</p> <p>○対象 企画ギャラリー又はギャラリストの集合体(公募制)</p> <p>また、アーティストが作品を制作後、展示・販売に備え、保管でき、かつ世界のアート関係者(ギャラリスト、キュレーター、コレクター等)とつながる「倉庫兼ビューイングルーム」の設置に向けたケーススタディを行う。</p> <p>※ 企画ギャラリー 所属するアーティストの作品を企画・展示・販売する店舗。作品の価格決定、広報、マネジメントなど、所属アーティストに対する各種サポートを担う。</p>			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	創造都市ネットワーク日本		
予算額	1,500 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 創造都市ネットワーク日本（CCNJ）は、創造都市の取組を推進する地方自治体等を支援するとともに、国内及び世界の創造都市間の連携・交流を促進するためのプラットフォームとして、平成25年1月に設立された文化庁（地域文化創生本部）所管の任意団体。現在、114自治体、42民間団体が加入している。 本市は設立当初から参加し、18の幹事団体の一員である。</p> <p>※ 創造都市とは、文化芸術と産業経済との創造性に富んだ都市のこと。</p>			
<p>[事業概要] 文化庁の京都への全面的な移転を見据え、本市が令和2年度・3年度の創造都市ネットワーク日本（CCNJ）代表幹事に就任する。 創造都市ネットワーク日本（CCNJ）事務局として、創造都市に関するあらゆる情報・知見・経験交流のハブ機能を担い、本市の先進的取組を全国に発信するとともに文化庁との連携を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総会、公開シンポジウムの開催（令和3年2月上旬予定） ・ 幹事団体会議の開催（年3回） 			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幹事団体 札幌市、八戸市、鶴岡市、松戸市、豊島区、横浜市、新潟市、高岡市、金沢市、可児市、浜松市、京都市、神戸市、丹波篠山市、宇部市、高松市、北九州市、大分市 			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	市文化財の「保存と活用の好循環」創出に向けた重点的 修理推進事業(仮称)											
予算額	32,000千円	新規・充実・継続の別	新規									
担当課	文化芸術都市推進室 文化財保護課(366-1498)											
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>2025年大阪・関西万博の開催を控え、我が国の文化が一層の注目を浴びるこの時期に、文化財が有する社会的・経済的価値を観光、産業、研究、教育、まちづくりなどの様々な分野に活用し、地域の活性化につなげていくため、文化財の集中的な修理を行うことが求められている。</p>												
<p>[事業概要]</p> <p>令和6年度までの5年間、京都市指定・登録文化財の修理補助の対象となる額の上限を拡大し、集中的に修理を推進する。</p> <p>補助を行う文化財の選定に当たっては、修理後の公開をはじめ、文化財を核とした地域の活性化に資する取組を積極的に進めるものを採択することにより、文化財の保存と活用の更なる好循環につなげる。</p> <p><補助内容></p> <p>○ 対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都市指定・登録文化財（建造物・美術工芸品）の修理事業 京都市指定・登録文化財（史跡・名勝）の復旧事業 <p>○ 補助割合</p> <ul style="list-style-type: none"> 市指定文化財 補助対象事業費の2分の1以内 市登録文化財 補助対象事業費の3分の1以内 <p>○ 補助上限額の拡大</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>従来</th> <th>拡大予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市指定文化財</td> <td>500万円 (建造物1,000万円)</td> <td>1,000万円 (建造物2,000万円)</td> </tr> <tr> <td>市登録文化財</td> <td>300万円 (建造物500万円)</td> <td>600万円 (建造物1,000万円)</td> </tr> </tbody> </table>					従来	拡大予定	市指定文化財	500万円 (建造物1,000万円)	1,000万円 (建造物2,000万円)	市登録文化財	300万円 (建造物500万円)	600万円 (建造物1,000万円)
	従来	拡大予定										
市指定文化財	500万円 (建造物1,000万円)	1,000万円 (建造物2,000万円)										
市登録文化財	300万円 (建造物500万円)	600万円 (建造物1,000万円)										
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]												

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	市指定文化財防災対策重点強化事業		
予算額	13,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化財保護課(366-1498)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>ノートルダム大聖堂の大規模火災を受け、文化庁では、国宝・重要文化財（建造物）等を対象として、防火設備等に関する緊急調査を実施し、9月に「国宝・重要文化財（建造物）の防火対策ガイドライン」を策定。設置から30年程度経過した防火設備のうち、機能低下が見られるものは、更新することが望ましいとされている。</p> <p>その後に発生した首里城の大規模火災も踏まえ、文化庁では令和2年度予算において、世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画に基づき、国宝・重要文化財の建造物や美術工芸品等に係る防火設備等の整備に係る事業に対して、補助率を上げるなど集中的に補助することとしている。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>国の動きを受け、本市の貴重な財産である京都市指定有形文化財（建造物）等においても、確実に次世代に継承するため、京都市指定文化財等の自動火災報知機の設置・更新に対する補助を拡充するとともに、防災対策を目的とするカメラの設置、消火器の設置についても補助し、5年間（令和6年度まで）、防災対策を重点的に強化する。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都文化遺産保存活用事業		
予算額	8,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化財保護課(366-1498)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市においては、数多くの文化遺産を有することが、都市の魅力の源泉となっている。こうした中、国では、平成31年4月に施行された改正文化財保護法において、文化遺産をまちづくりに活かしつつ、社会全体でその継承に取り組んでいくという方針を示された。</p> <p>京都市においても、平成31年3月に、京都市文化財保護審議会から、「京都市におけるこれからの文化財保護の在り方について」の答申が出され、京都の人々の生活、歴史、文化の理解のために欠くことができないものすべてを「京都文化遺産」と位置づけるとともに、その維持継承に向けて、京都文化遺産の保存と活用をバランスよく行うことにより、好循環を創出し、地域の持続的な発展につなげていくことが求められている。</p> <p>これらの状況を踏まえ、京都市が有する京都文化遺産を未来に引き継いでいくために京都文化遺産を見つける、知る、守る、活かすことができる方策について検討を行うものである。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>京都市が有する京都文化遺産の社会的・経済的価値を最大限に引き出すことにより、市民生活を豊かにし、地域や経済の活性化にもつなげられるよう、大学・研究機関、企業、NPO等の多くの関係主体とも連携しながら京都文化遺産の維持継承に取り組んでいく方策を検討し取りまとめる。</p> <p><主な取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史資料館、考古資料館、考古資料や近代化遺産等の収蔵庫の状況等を踏まえ、歴史都市・京都の有する京都文化遺産を見つけ、知り、守り、活かすにふさわしい収蔵環境、展示環境への改善に向けた検討 ・ 京都文化遺産の保存活用の一層の促進に向けた相談窓口の設置や、大学等との連携による本市の収蔵環境を踏まえた保存処理技術の開発を目指した研究 			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	「京都文化遺産を千年先に」プログラム		
予算額	2,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 文化財保護課(366-1498)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックの開催時期に合わせて、本市の優れた文化財の魅力と、文化財の保護の実際を内外に発信する。また、先人の不断の努力で継承されてきた文化財をさらに千年先まで伝えていけるよう市民の皆様にも理解を深めていただくとともに、50年に及ぶ本市の文化財保護の取組とその成果を発信することを目的として、次世代に向けた文化財の普及啓発事業を展開する。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>1 展示 京都市内の文化遺産の価値とそれを受け継いでいく重要性を広く知っていただくため、考古資料館等において市指定・登録文化財等の特別展示を実施する。</p> <p>2 情報発信 初秋をめどに、高校生・大学生等の次世代に、文化遺産の継承について意識を高めてもらうべく、SNS等を通じて、文化遺産の修理現場や発掘の現場でどのようなことが行われているのか、現場での楽しみや喜び、現場だけからわかる情報などを、分かりやすい内容で発信する。</p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都市京セラ美術館オープニングプロジェクト		
予算額	354,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	美術館 総務課(771-4107)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>京都市京セラ美術館は、平成26年に策定した「京都市美術館将来構想」に基づき、近代建築として高い評価を得ている本館を保存・継承しつつ、現代アートに対応した新館を建設することで美術館機能を強化するとともに、アメニティ機能の充実、バリアフリー化、MI CE対応等、今日的なニーズに対応するため再整備事業に着手し、令和2年3月21日にリニューアルオープンする。</p> <p>再整備により高機能となったハード面（近代美術から現代美術まで対応可能、カフェなどのアメニティ機能の充実）や、長年にわたる京都の美術に関する調査研究の蓄積など、京都市京セラ美術館ならではの強みを最大限活用するとともに、京都のポテンシャルや民間ノウハウを組み合わせ、オープニングイヤーの令和2年から令和3年にかけて、多様な展覧会や新しい美術館の楽しみ方を提案する事業などの自主企画を積極的に展開。より多くの人に開かれた「世界に誇れる美術館」を目指し、「日本の美の拠点」と「地域経済活性化の拠点」として相互作用・好循環を生む、新たな日本のミュージアムを創造するための基盤を構築する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>1 展覧会</p> <p>(1) THE ドラえもん展 KYOTO 2020 【令和2年7月4日～8月30日】 現代アートの最前線で活躍する28組のアーティストによるドラえもんをテーマとした展覧会</p> <p>(2) ANDY WARHOL KYOTO 【令和2年9月19日～3年1月3日】※共催展 「ポップ・アート」の旗手、アンディ・ウォーホルの京都における初の本格的な個展</p> <p>(3) 平成の美術1989-2019（仮称）【令和3年1月23日～4月11日】 著名な美術批評家の榎木野衣を企画・監修に迎え、平成の日本の美術を取り上げた展覧会</p> <p>(4) リニューアルオープン1周年記念 近代美術展【令和3年度】 京都画壇を代表する作家の回顧個展</p> <p>2 その他イベント等 開館記念展「杉本博司 瑠璃の浄土」関連プログラム、新進作家支援プログラム、ラーニング・プログラム、地域連携プログラム等、年間を通じて多彩なイベントを展開する。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	「いのちかがやく京都市動物園構想2020」推進事業		
予算額	63,600 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	動物園 総務課(771-0210)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 今年度中に策定する「いのちかがやく京都市動物園構想2020※」に掲げる具体的な施策を推進していくために、動物福祉に配慮した施設の再整備、新構想の広報事業、繁殖個体の導入を実施する。</p> <p>※「いのちかがやく京都市動物園構想2020」 京都市動物園の現構想である「共汗でつくる新「京都市動物園構想」」が策定後10年の節目を令和元年度に迎えるに当たり、多様化する環境教育のニーズに対応するとともに、全国の動物園の中で希少動物の繁殖や研究・教育において、主導的な役割を果たしていくため、ソフト面を中心とした新構想を策定する。</p>			
<p>[事業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルワールド再整備事業 サルワールドの老朽化が進んでいるため、動物本来の性質がより発揮できるよう再整備に向けた設計を行い、動物福祉向上とともに、教育・研究の推進を図る。 ・中長期的繁殖計画の実施に向けた Species360（世界水準の動物管理情報を提供する最大の非営利団体）への加入 限られた動物舎を有効に活用し、魅力ある動物の展示や種の保存を実践していくため、Species360 への加入を行う。 ・ヨーロッパオオヤマネコの導入 平成30年度に京都・パリ友情盟約締結60周年を記念して、パリ動物園からヨーロッパオオヤマネコ（雄）1頭を寄贈いただいた。ヨーロッパオオヤマネコの繁殖に向けて、新たにヨーロッパオオヤマネコ（雌）を導入する。 ・9,000万人突破記念事業 市内イベントにおいてブース出展を行うなど、新構想の情報発信を行う。 			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Species360 への国内加盟園 東山動物園，神戸市立王子動物園，神戸どうぶつ王国，天王寺動物園，多摩動物公園，東京都恩賜上野動物園 等 ・ヨーロッパオオヤマネコの国内飼育状況 神戸市立王子動物園，羽村市動物公園，宇都宮動物園で計6個体を飼育している。 			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	二条城2020		
予算額	40,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	元離宮二条城事務所(841-0096)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、2020年は海外から多くの方々が日本に、そして京都を訪れることが予想されることから、季節ごとに多彩な事業を展開し、二条城の文化財としての価値や魅力の発信を図る。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>(1) 2020二条城桜まつりの充実【2020年3月～4月】 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、毎年3月下旬から4月中旬に開催している桜ライトアップのイベント内容の充実を図る。プロジェクションマッピング等、桜の開花状況に影響されない魅力あふれるライトアップを行う。</p> <p>(2) 二の丸御殿特別入室事業【2020年7月～9月】 2017年から、二の丸御殿内の特別入室を実施している。2020年の夏は、オリンピック開催時期に合わせ、初となる大広間一の間・二の間の特別入室を行う。</p> <p>(3) 2020二条城夏まつり(仮)【2020年7月～9月】 東京2020オリンピック・パラリンピック開催期間の7～9月は、国内外から多くの観光客が京都を訪れると予想されることから、例年、当該時期に実施している「二条城夏季ライトアップ」の内容を充実させ、集客を図る。</p> <p>(4) 西南隅櫓特別公開事業【2020年6月】 令和元年度に新たに整備したアジサイ園の公開に合わせて、現在、非公開の西南隅櫓について、特別公開を行う。</p>			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	二条城城内環境向上事業		
予算額	74,200 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	元離宮二条城事務所(841-0096)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>二条城は、年間200万人以上の来城者をお迎えしているが、城内通路の大部分が砂利道となっているため歩きにくく、特に高齢者や障がいのある方、車いす利用者、ベビーカー利用者等の観覧に支障をきたしており、早急にバリアフリー化に取り組む必要がある。</p> <p>また、特別名勝 二の丸庭園は、1953年(昭和28年)に国の特別名勝の指定を受け、文化的資産と観光要素の一つとして維持管理され現在に至るが、庭園の状態及び鑑賞環境を良好に維持していくため、老朽化した箇所等の修繕等に継続的に取り組む必要がある。</p> <p>さらに、二条城の見どころの1つである桜や梅が、近年の台風等の自然災害や老朽化等により減少しており、二条城の魅力を維持向上するため、これらの花木(かぼく)を継続的に植樹、更新していく必要がある。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>1 城内通路改良 高齢者や障がいのある方、車いす利用者、ベビーカー利用者等の皆様にも快適に城内を観覧できるよう、砂利道の改良によるバリアフリー化に取り組むことで、良好な観覧環境を整備する。令和2年度は、通路改良の設計を予定しており、城内の景観に配慮した通路改良の方法を検討していく。</p> <p>2 庭園等整備・改修事業 二の丸庭園における建仁寺垣(竹で作成された垣)の柱や垣根の腐食が進んでおり、台風等による転倒の危険性も高まっているため、令和2年度から2箇年で改修する。また、それ以外の施設(境界柵等)についても令和4年度以降順次改修等を行っていく。</p> <p>3 サクラ等花木充実 二条城の見どころの1つである桜や梅が近年の台風等の自然災害や老朽化等により減少しており、二条城の魅力を維持向上するため、これらの花木(かぼく)を計画的に植樹する。</p>			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	Living History in 二条城～生きた歴史体感プログラム～		
予算額	25,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	元離宮二条城事務所(841-0096)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>二条城は、1626年の後水尾天皇の寛永行幸や1867年の大政奉還、1915年の大正天皇御即位の大饗宴など、わが国における歴史の転換の舞台となっている。</p> <p>これらは二条城の本質的価値の基盤であり、本事業を通じて、往時の様子を生きた歴史として来城者に体感していただくことで、二条城はもとより、わが国の歴史・文化に対する正しい理解を深めていただく。</p> <p>また、入城料や本事業への参加費を二条城本格修理事業などの文化財保存の財源に充てる「文化と経済の好循環」を構築する事業となるよう、令和元年度に引き続き、取り組んでいく。</p> <p>※ 二条城は、令和元年度に、歴史的な出来事や当時の生活、その時代の文化を体験する、文化庁の新規事業「Living History～生きた歴史体感プログラム～」に採択されている。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>令和2年度は、寛永期の文化を体感する「寛永茶会」を引き続き実施するとともに、新たに大正天皇御即位の大饗宴を体感するプログラムを実施する。</p> <p>あわせて、令和3年度からプログラムに加える予定をしている大政奉還に関するプログラムについて、時代考証を行う。</p> <p>(実施スケジュール)</p> <p>令和元年度 寛永茶会 令和2年度 寛永茶会、大正天皇御即位の大饗宴 令和3年度 寛永茶会、大正天皇御即位の大饗宴、大政奉還</p> <p>(参考)</p> <p>令和元年度は、寛永行幸の時代に実施された茶会を再現するとともに、徳川幕府の弓馬術礼法の師範を務めた小笠原流弓馬術礼法一門による、武家礼法の体感を通じ、寛永期の文化を体感するプログラムとして「寛永茶会」を実施した。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p> <p>令和元年度は、全国11箇所の文化財で実施されている。</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都市の文化財展～オリンピック・パラリンピック連動事業～		
予算額	2,800 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 歴史資料館(241-4312)		
[事業実施に至る経過・背景など] 世界中から日本へ多くの方が訪れる東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、市民の皆様だけではなく、世界中の人々に広く京都市の貴重な文化財を普及啓発することを目的として、特別展「京都市の文化財展」を開催する。			
[事業概要] この特別展は、京都市が新たに指定・登録した文化財をはじめ、これまで指定登録されたものの、いまだ公開されていない文化財を展示するとともに、本市の文化財補助事業において修理し、展示が可能になった文化財を、その修理内容も合わせて紹介することにより、文化財保護の重要性について、広く知っていただく機会とする。 (開催時期：令和2年6月中旬～8月初旬)			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	歴史資料館収蔵資料のデジタル化事業		
予算額	4,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	文化芸術都市推進室 歴史資料館（241-4312）		
[事業実施に至る経過・背景など] 歴史資料館には約13万点にのぼる古文書をはじめ、美術工芸品、民族資料が所蔵・寄託されており、一般市民や世界の歴史研究者の利用に供している。 しかしながら、収蔵品については、『史料京都の歴史』（1994年に刊行）に載せられた目録・解説等や別途台帳等により把握できるものの、コンピュータによる検索が不可能な状況である。			
[事業概要] 歴史資料館の収蔵品について、コンピュータによる検索ができない不便を一刻も早く解消するため、デジタル化により古文書等の目録・画像データを整備し、検索を容易にする。 また、現在使用しているアナログ対応品の撮影機材・加工用ソフト等が、老朽化しているため、デジタル対応品に更新する。			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	文化会館長寿命化に向けた改修計画の策定																	
予算額	20,700 千円	新規・充実・継続の別	新規															
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)																	
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>文化会館は開館から18年～32年が経過し、適宜、修繕を行っているが、設備機器などの更新等が必要な状況にある。</p> <p>今後、計画的に改修を実施していくために、音響設備や舞台設備なども含めた施設全体の状況を把握したうえで、改修計画を策定する必要がある。</p> <p>(参考) 文化会館の設置状況</p> <table><tr><td>東部文化会館</td><td>[山科区]</td><td>昭和62年4月開館</td></tr><tr><td>西文化会館ウエスティ</td><td>[西京区]</td><td>平成5年8月開館</td></tr><tr><td>呉竹文化センター</td><td>[伏見区]</td><td>平成2年8月開館</td></tr><tr><td>北文化会館</td><td>[北区]</td><td>平成7年4月開館</td></tr><tr><td>右京ふれあい文化会館</td><td>[右京区]</td><td>平成13年9月開館</td></tr></table>				東部文化会館	[山科区]	昭和62年4月開館	西文化会館ウエスティ	[西京区]	平成5年8月開館	呉竹文化センター	[伏見区]	平成2年8月開館	北文化会館	[北区]	平成7年4月開館	右京ふれあい文化会館	[右京区]	平成13年9月開館
東部文化会館	[山科区]	昭和62年4月開館																
西文化会館ウエスティ	[西京区]	平成5年8月開館																
呉竹文化センター	[伏見区]	平成2年8月開館																
北文化会館	[北区]	平成7年4月開館																
右京ふれあい文化会館	[右京区]	平成13年9月開館																
<p>【事業概要】</p> <p>文化会館が地域における文化活動の拠点として、本市の文化芸術を振興する役割を担い続けていくため、中長期的な改修計画を策定する。</p> <p>各施設における現況調査を行い、劣化度を評価するとともに、調査結果を踏まえ、効率的かつ効果的な計画とすることにより、各施設の長寿命化、ライフサイクルコストの縮減及び改修費用の平準化を図る。</p> <p>なお、5つの文化会館は、立地や開館年度の違いはあるが、同様の機能を有していることから、まとめて改修計画を策定する。</p>																		
<p>【実施期間】</p> <p>令和2年度：劣化度調査、改修計画の検討 令和3年度：改修計画の策定</p>																		
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>																		

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	北部山間地域の持続可能なまちづくり～北部山間かがやき隊員起業等支援～		
予算額	3,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	地域自治推進室 地域づくり推進担当（222－3049）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 本市の北部山間地域では、急速な人口減少と少子高齢化が進んでいることから、国の「地域おこし協力隊」制度等を活用し、平成28年度から「京都市北部山間かがやき隊員」を採用しており、現在、9名の隊員が①地域協力活動、②地域の魅力発信、③移住促進といった北部山間地域の活性化に取り組んでいる。 隊員の任期（3年）終了後も、地域活性化の担い手として、地域へ定住、定着できるよう支援をする必要がある。</p>			
<p>〔事業概要〕 隊員の任期終了前後1年以内に本市北部山間地域内で起業し、又は事業を引き継ぐ場合の必要経費を助成する制度を新たに設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額：1人あたり100万円以内（1人につき1回） ・対象経費：設備費，備品費，土地・建物賃借費，法人登記に要する経費，知的財産登録に要する経費等 			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕 総務省の「地域おこし協力隊推進要綱」に準じた事業で、国において特別交付税が措置される。</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	テレビ電話型翻訳タブレット端末を活用した区役所・支所 における窓口サービスの充実		
予算額	3,800 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	地域自治推進室 地域づくり推進担当（222-3049）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>平成31年4月の「出入国管理及び難民認定法」の改正を踏まえ、国内において5年間で最大約35万人の外国人材の受け入れが見込まれている。</p> <p>本市では、外国籍市民が直近5年間で約6,000人増加しており、法改正に伴い、今後一層の増加が見込まれる中、「多文化共生のまちづくり推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、誰もが暮らしやすい社会の実現や、地域の活性化につながる方策を全庁一体となって検討している。</p> <p>区役所・支所の各窓口における外国籍市民への対応については、独自で作成したビラやパンフレットを用いた説明、京都市国際交流会館が行う行政通訳相談事業の活用等で対応しているが、説明できる内容、対応言語や曜日が限られているなど、個々の状況に応じた制度説明が困難になっている。</p> <p>今後、外国籍市民の増加が予想される中で、全区役所・支所にテレビ電話型翻訳タブレット端末を導入することで、各種手続きのために来庁される様々な国籍の方に幅広く対応するとともに、対応する職員の負担軽減を図る。</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <p>本市で暮らす外国籍市民の方が、転入・転出、福祉、医療、子育て等に係る各種手続きや市民生活相談で、区役所・支所を訪れた際に、窓口で多言語での対応ができるよう、全区役所・支所に、テレビ電話型翻訳タブレット端末を配備する。</p> <p>テレビ電話型翻訳タブレット端末は、通訳オペレーターが端末画面を通じて対応することにより、来庁者と職員の円滑なコミュニケーションを可能にするものである。</p> <p>○テレビ電話型翻訳タブレット端末の導入について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 タブレット端末導入台数 <ul style="list-style-type: none"> 15台（14区役所・支所、予備） 2 対応言語 <ul style="list-style-type: none"> 11言語（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タガログ語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、（日本語）） 			
<p>〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕</p> <p>東京23区中17区、政令市5都市、ほか多数の自治体において、テレビ電話型翻訳タブレット端末の導入実績があり、本市においても、導入することで住民サービスの向上が期待できる。</p> <p>※本市では、改正入管法が平成31年4月に施行されたことに伴い、「多文化共生のまちづくり推進プロジェクトチーム」を設置しており、令和2年度における多文化共生に係る本市の取組は添付のとおりである。</p>			

令和2年度 多文化共生のまちづくり推進に係る取組について（案）

1 コミュニケーション（意思疎通）

(1) 暮らしやすい地域社会づくり

- ① 行政生活情報の多言語化
 - ・京都市公式ホームページの多言語化及び「やさしい日本語」での発信
 - ・外国人目線での分かり易い刊行物を作成
 - ・テレビ電話型翻訳タブレット端末を活用した区役所・支所における窓口サービスの充実（文化市民局）【p46】
 - ・水道の申込手続きにおける多言語表記や通訳
 - ・バス、地下鉄での多言語表記や案内
 - ・納税管理人制度の様式を多言語化
- ② 多文化共生の取組の促進・支援
 - ・外国籍市民総合相談窓口の運営（通訳、相談等）
 - ・京都市国際交流会館事業の推進（交流支援、講座等）



(2) 生活サービス環境の改善等

- ① 福祉サービスの環境整備等
 - ・福祉サービスの多言語化パンフレットの作成
 - ・通訳派遣（病院、結核患者、夜間HIV検査受検者、母子保健事業対象者への派遣）
 - ・母子健康手帳等の多言語版の作成
 - ・保育所等における翻訳機等の導入（子ども若者はぐくみ局）【p150】
- ② 各種マナー啓発、人権意識等の啓発
 - ・ゴミ出し、自転車ルール等の啓発冊子の発行
 - ・多文化共生を含む人権啓発の実施
- (3) 教育環境におけるコミュニケーションの円滑化等
 - ① 日本語教育等の充実
 - ・帰国、外国人児童生徒への日本語指導や母語支援員による適応支援
 - ・外国人学校の支援
 - ・京都市国際交流会館事業の推進（日本語教室の開催）
 - ② 学校生活における支援
 - ・通訳派遣（児童・生徒や個人懇談時等の保護者への派遣）
 - ・多言語による「小学校生活親子オリエンテーション」（教育委員会）【p218】
 - ・来日直後の留学生を対象としたガイダンスを実施

2 暮らし（安心・安全）

○ 防災・暮らしに関する支援

- ・119番通報時や災害現場活動時における多言語通訳
- ・英語版火災予防動画を使用した火災予防啓発
- ・「京都市防災危機管理情報館」の多言語表示等の機能強化（行財政局）【p11】
- ・帰宅困難者対策における情報連絡体制の充実（行財政局）【p11】
- ・災害時における外国籍市民等の防災体制整備事業（総合企画局）【p20】
- ・外国人への救急対応・防火防災指導の充実（消防局）【p189】
- ・留学生への市営住宅の入居募集や住宅情報サイトの活用などの住居支援
- ・留学生の国民健康保険料の支払いにかかる負担を軽減

3 コミュニティ（協働）

○ 地域・市民活動への参加の推進等

- ・外国籍市民に対するまちづくり・お宝バンクの取組支援
- ・地域の生活習慣や外国籍市民の文化などを学び合う教室を実施
- ・自治会、町内会加入促進パンフレットの作成

4 仕事（活躍）

○ 地域での安定した就労の支援等

- ・観光関連事業で働く方へ京都のおもてなし・文化等を学ぶ勉強会を実施
- ・地域企業「外国人」雇用促進事業（産業観光局）【p78】
- ・介護の担い手となる外国人の就労・定着に向けた研修の実施（保健福祉局）【p140】
- ・留学生を対象とした就職支援マッチングサイトの運営やセミナーの開催

※多文化共生のまちづくり推進プロジェクトチームでは、「改正出入国管理法」の施行に伴い、増加する外国籍市民に対する適切な行政サービスの提供として、上記のとおり令和2年度の取組を予定しております。（実施にあたり、予算措置が必要ない取組を含みます。）

※新規・充実事業については、下線で記載。

※上記は本プロジェクトで取りまとめたものであり、掲載以外の取組もあります。

【本資料に関する問い合わせ先】 担当：文化市民局プロジェクトチーム事務局（電話：222-3049）
多文化共生のまちづくり推進プロジェクトチーム事務局

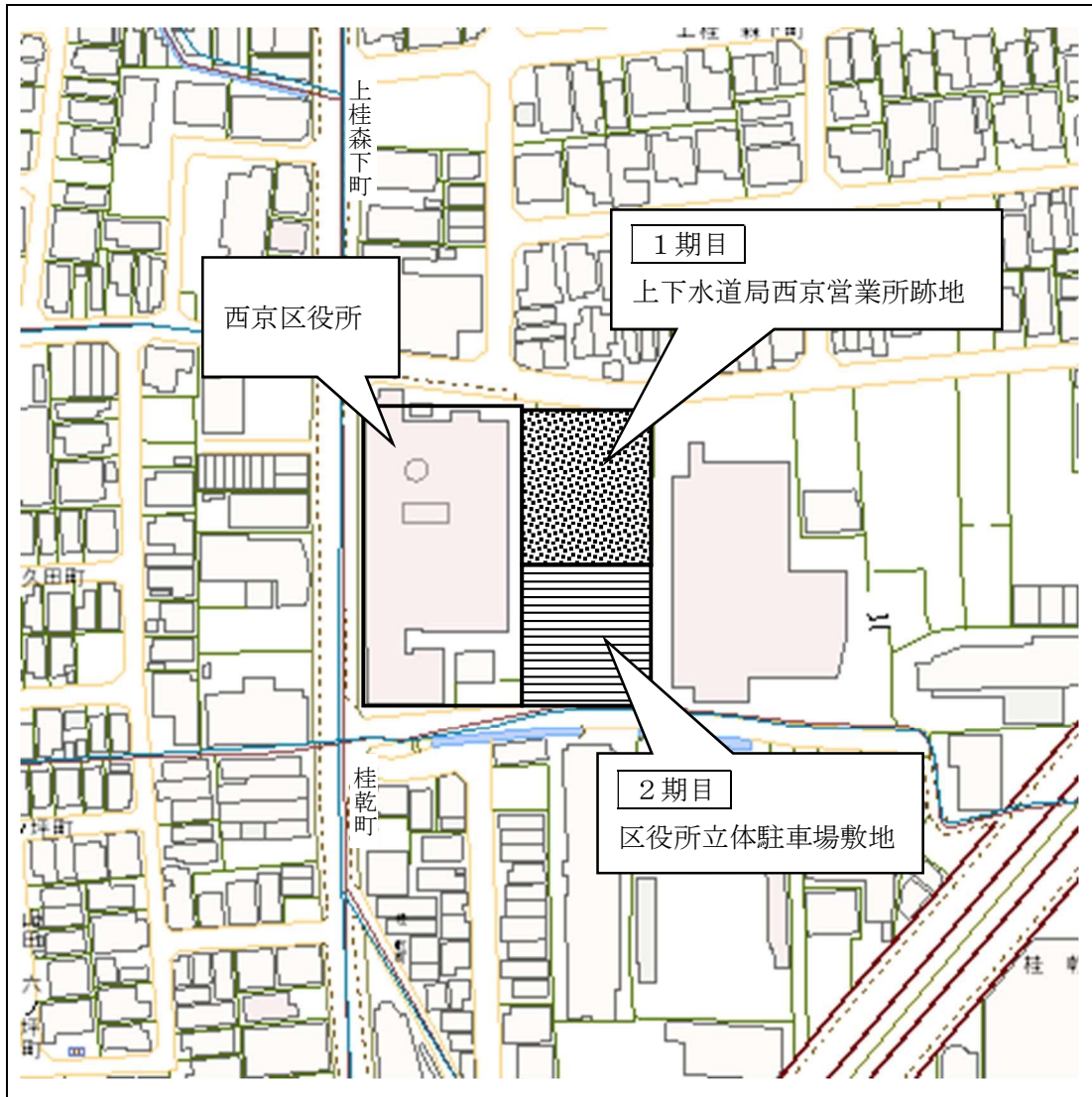
令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	西京区総合庁舎整備		
予算額	68,100 千円	新規・充実・継続の別	充実
担当課	地域自治推進室 区政推進担当(222-3048)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>本市では、保健、福祉など市民生活に密着した要望や地域課題の解決に向けて、それぞれの地域のニーズや実情を踏まえ、総合的に市民サービスの向上を図るため、市民に最も身近な行政機関である区役所の総合庁舎化を順次進めてきた。</p> <p>西京区役所について、区民の利便性向上を図るため、西京区役所と保健福祉センター別館を一体化した総合庁舎の整備に向け、取組を進めている。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>新たな西京区総合庁舎については、UR住宅と合築となっている現庁舎の有効活用を図りつつ、東隣の上下水道局西京営業所跡地とその南側の西京区役所立体駐車場敷地を活用して整備することとしており、令和元年度は、基本計画の策定を行っている。</p> <p>令和2年度は、設計、地質調査等を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 整備場所 (別添参照) 2 整備内容 整備は2期に分けて行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・1期目： UR住宅と合築となっている現庁舎の有効活用を図りつつ、令和5年度の供用開始を目指して、上下水道局西京営業所跡地に新庁舎を整備（現在の保健福祉センター別館の機能を統合。あわせて、区民交流スペース等を設置） ・2期目： 区民のニーズや社会情勢の変化を十分に見据えたうえで、URとの土地賃貸借契約期間（令和20年10月まで）を念頭に、現区役所の立体駐車場敷地を活用し、1期目に整備する新庁舎と一体となるよう、庁舎を増築整備 3 今後のスケジュール（1期目） (別添参照) 			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

(別添資料)

・整備場所



・今後のスケジュール（1期目）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新庁舎	基本計画策定	設計	工事等 (各種手続き含む)		供用開始

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	マイナンバーカードの普及促進		
予算額	1,982,172 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域自治推進室 市民窓口企画担当（222-3085）		

【事業実施に至る経過・背景など】

デジタル社会の基盤であるマイナンバーカードについて、令和元年6月に国において「マイナンバーカードの普及とマイナンバーの利活用の促進に関する方針」が決定され、令和4年度中にほとんどの住民が保有することを想定し、国が示した交付枚数（想定）に沿って、交付体制の整備、申請受付等、マイナンバーカードの普及促進に取り組む必要がある。

【国における交付枚数（想定）】

時期	国	交付率		京都市
2020年(令和2年)7月末	3,000～ 4,000万枚	23.5～31.4%	⇒	33～ 44万枚
2021年(令和3年)3月末	6,000～ 7,000万枚	47.1～54.9%		67～ 78万枚
2022年(令和4年)3月末	9,000～10,000万枚	70.6～78.5%		100～111万枚
2023年(令和5年)3月末	ほとんどの住民がカードを保有			

※令和元年12月末時点の交付枚数（交付率）… 国：約1,892万枚（14.8%）
京都市：約23万枚（16.2%）

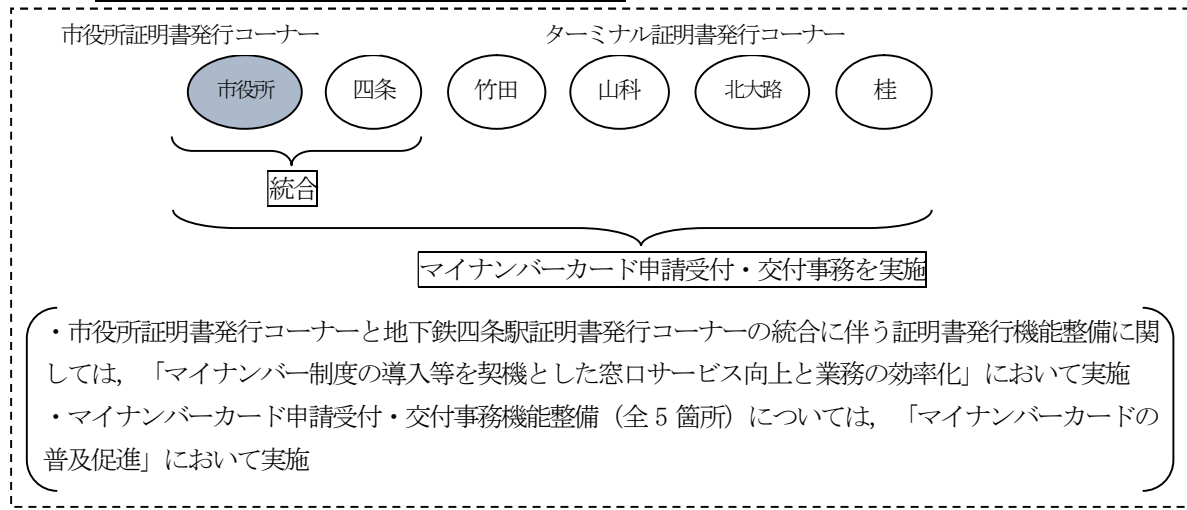
※本市の想定交付枚数については、国における想定交付率を基に算出した枚数である。

【事業概要】

1 交付体制の強化

区役所・支所において実施しているマイナンバーカードの申請の受付及び交付事務について、実際の交付枚数の状況を見極めながら体制の強化を図る。また、平日夜間や土日にも実施できるよう、証明書発行コーナー5箇所（市役所証明書発行コーナー*及びターミナル証明書発行コーナー4箇所）に拡大する。

※ 地下鉄四条駅証明書発行コーナーを統合



2 出張申請窓口の推進

マイナンバーカードの申請機会の拡大のため、事業所等に出向いて申請を受け付ける「出張申請窓口」の取組について、商業施設等に拡大する。

3 メリット、利便性等の広報

マイナンバーカードの取得メリット・利便性（コンビニ交付、マイナンバーカードを活用した消費活性化策（マイナポイント制度）、健康保険証としての利用等）について、市民しんぶん、交通広告等により積極的に広報を行う。

[参 考（他都市の状況・事業効果など）]

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	マイナンバー制度の導入等を契機とした窓口サービス向上と業務の効率化		
予算額	317,311 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域自治推進室 市民窓口企画担当(222-3085)		

[事業実施に至る経過・背景など]

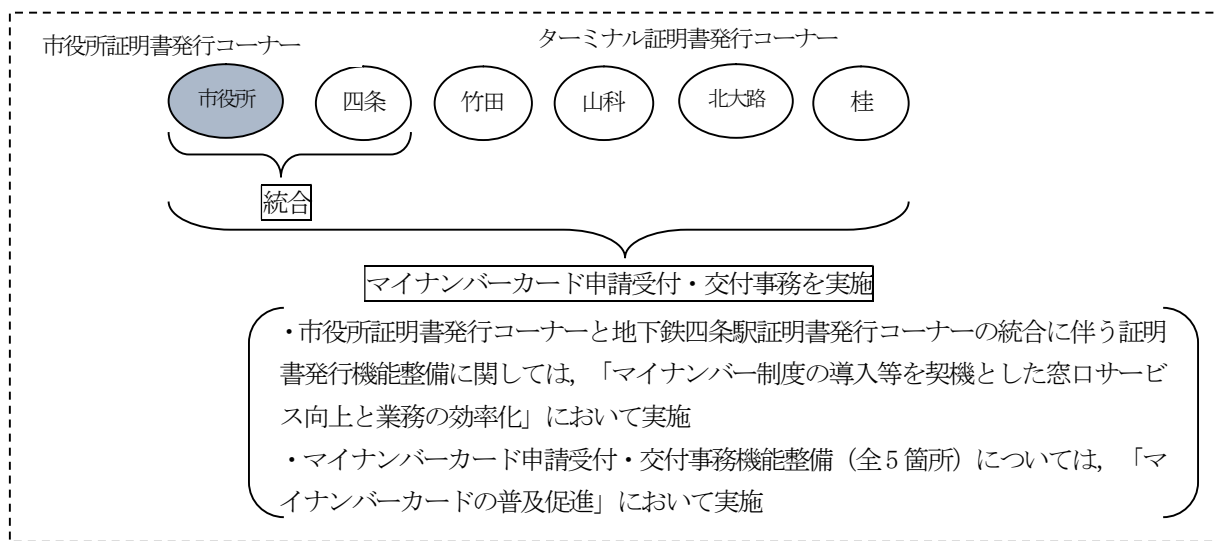
マイナンバー制度の導入（平成27年10月）や戸籍事務のコンピュータ化（平成29年3月完了）など、区役所の窓口業務に係る環境の変化に的確に対応するため、「区役所窓口サービス向上プラン」を、平成30年4月に策定し、下表に掲げる8つの取組を順次進めている。

基本方針	取組の柱	具体の取組
窓口サービスの向上	Ⅰ 証明書のコンビニ交付の実施と証明書発行コーナーの統合	①証明書のコンビニ交付の実施<平 31. 1. 15 実施>
		②証明書発行コーナーの統合
	Ⅱ 総合受付窓口（仮称）の創設をはじめとした区役所窓口の再編	③総合受付窓口（仮称）の創設
		④窓口支援システムの導入
		⑤来庁者をサポートする体制の充実
業務の効率化	Ⅲ 効率的な執行体制の整備	⑥区役所等における証明書交付申請窓口の体制の再編
		⑦事務の集約<令元. 7. 16 実施>
		⑧繁忙期の体制強化

[事業概要]

- 1 マイナンバーカードの申請受付及び交付事務について、平日夜間や土日にも実施するため、証明書発行コーナー5箇所（市役所証明書発行コーナー[※]及びターミナル証明書発行コーナー4箇所）の機能を拡充する。

※ 地下鉄四条駅証明書発行コーナーを統合



2 令和2年2月からモデル事業として右京区で実施する上表③～⑥の取組について、令和2年度は他の区役所・支所に拡大する。

<取組内容>

③総合受付窓口の創設

引越し、婚姻、出生などをきっかけに、戸籍・住民登録の手續と合わせて生じる複数の手續を、近接するエリア内で受け付けることにより、これまで以上にスムーズに、漏れなく手續を済ませることができるエリア集約型の受付窓口を創設

④窓口支援システムの導入

複数の窓口を同じ番号でまわることができるシステムの導入

⑤来庁者をサポートする体制の充実

適切な窓口への誘導や必要な手續の案内を行うフロア案内員を配置

⑥区役所等における証明書交付申請窓口の体制の再編

証明書交付申請を行う方と住所異動等の届出を行う方の受付窓口を分けることにより、スムーズな人の流れを生み出すために窓口を再編

[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	高齢運転者事故防止支援事業		
予算額	3,800 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	くらし安全推進部 くらし安全推進課(222-3193)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>本市では、運転免許証を返納しやすい環境づくりに向けて、(一財)京都府交通安全協会と連携し、平成26年5月から自主返納者への支援制度(自主返納者に対する支援物品(500円分のギフトカード)の提供)を運用しており、平成28年度からは、高齢運転者による交通事故の割合が年々増加し、社会問題化していることを踏まえ、支援の対象者を65歳以上の高齢者に限定して同制度を運用している。</p> <p>運転免許証の自主返納に関して、より積極的な動機付けを与えるものとするため、制度の見直しを行い、令和2年度からは、高齢運転者による交通事故の防止に資するより効果的な取組を実施する。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>1 運転免許証「お試し返納」モニター事業 モデル区において、高齢運転者が運転免許証を「お試し返納」するモニター事業を実施する。 モニター体験をきっかけに自主返納に繋げるとともに、モニター事業の報告会の実施、体験談等をまとめたパンフレットや運転免許証自主返納制度周知リーフレットの作成などにより自主返納を促進する。</p> <p>2 高齢運転者講習会、ドライブシミュレーター体験教室 高齢運転者が実車で講習を体験することができる「シルバー運転手講習会」、可搬型のドライブシミュレーター(高齢者講習用適性検査器)を活用した「シミュレーター体験教室」を実施し、高齢運転者に対して、自身の運転を省みて、安全運転及び運転継続の是非について考える機会を提供するとともに、運転に不安を感じる方に対しては、交通事故を未然に防ぐ手段として運転免許証の自主返納を促進する。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p> <p>○同様のシルバー運転者講習会を行っている政令市(4市) 仙台市, 川崎市, 横浜市, 福岡市</p> <p>○ドライブシミュレーターを活用した交通安全教室等を行っている政令市(1市) 北九州市</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例の推進(健康増進法の改正に伴う路上喫煙対策の強化)		
予算額	5,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	くらし安全推進部 くらし安全推進課(222-3193)		
[事業実施に至る経過・背景など] 令和2年4月1日の改正健康増進法の全部施行後には、施設等の屋内で喫煙できなくなった喫煙者が、当該施設等付近の路上で喫煙することが懸念されるため、屋内だけでなく、路上での喫煙も禁止であることを周知する必要がある。 また、改正健康増進法の全部施行に伴う影響とその推移を把握するためには、路上喫煙に係る過料徴収区域外を含めたより広範囲で調査を実施しなくてはならない。 さらに、過料徴収区域外での路上喫煙に関する苦情が依然として多く、過料徴収区域外での取組の必要性が相対的に高まっていることから、観光地や鉄道駅など特に路上喫煙の多い地域において、新たに啓発することも必要となっている。			
[事業概要] 1. 改正健康増進法施行に伴う各施設等への周知 啓発チラシやステッカーを制作し、市内の公共施設や飲食店等に配布して周知を図る。 2. 定点調査委託 鉄道駅・観光地周辺等で通行人に占める路上喫煙者の割合等について調査を行い、改正健康増進法の施行前後の影響とその推移を確認する。 3. 街頭啓発の強化 現在、路上喫煙等監視指導員等が実施している街頭啓発を、外部に委託することによって、より広範囲高頻度の啓発を実施できるようにし、制度の認知向上と路上喫煙の抑制を図る。 4. 過料徴収区域外での音声放送による啓発巡回 路上喫煙等の禁止に係る啓発アナウンスの音声を4カ国語(日・英・中・韓)で作成し、マイク付き車輜で放送を流しながら京都市内を巡回する。			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	繁華街における飲食店等による客引き行為等対策の推進		
予算額	47,058 千円	新規・充実・継続の別	充実
担当課	くらし安全推進部 くらし安全推進課(222-3193)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>本市では、繁華街における居酒屋やカラオケ店等による客引き行為等が増加し、公共の場所における安心・安全な通行が妨げられ、市民や観光客に対して不安や不快感を与えている状況にあったことから、平成27年4月から客引き行為等の禁止等に関する条例を施行。</p> <p>その結果、禁止区域として指定した祇園・河原町区域や京都駅北側周辺区域などにおいて、客引き行為等対策指導員が、客引き行為等を行った違反者への指導等を進めてきたことにより、客引き行為者を減少させることができた。</p> <p>しかしながら、昨年度あたりから客引き行為者の減少が下げ止まりの状況にあることや、最近では飲食店等から集客業務の委託を受けた専門業者によって客引き行為等が行われていることが多く、集客業務を委託した店舗に対して効果的な指導ができていないことが課題となっているため、令和2年4月に改正条例を施行し、客引き行為者等への指導・取締りを強化していく。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>令和2年4月の改正条例の施行により、引き続き、公共の場所における安心安全な通行を確保し、これまで以上に市民生活の一層の安心安全の確保や観光客の安心した回遊を可能とするため、客引き行為者等の撲滅に向けて、以下の取組を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客引き行為等対策指導員の増員 ・各禁止区域における巡回の強化 ・客引き行為等を行わせた法人等に対する指導等の強化など 			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	性の多様性の理解及びLGBT等の性的少数者の社会参加の促進プロジェクト		
予算額	2,800 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	共生社会推進室 人権文化推進担当(366-0322)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>LGBT等の性的少数者の方々については、社会の関心が高まってきてはいるが、いまだ、周囲の不用意な言動に傷つかれ、不安を抱いている方も多く、また、行政手続や学校、企業等での生活においても困難に遭遇されることがある。</p> <p>このため、本市では、性の多様性についての理解を深めるため、啓発講座の開催など、教育・啓発に取り組むとともに、「申請様式等の性別記載欄の見直し」をはじめとして、性的少数者に寄り添う取組を行ってきたところである。令和元年度は、本市の「人権文化推進計画」の中間年に当たることから、社会状況等の変化に対応するための見直しを進めており、性的少数者の人権については重点課題の一つとして位置付けることとしている。そこで、令和2年度は、「誰ひとり取り残さない」共生社会の実現を目指して、性の多様性の理解と性的少数者の社会参加の促進に資する様々な取組を行う。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>(公財)世界人権問題研究センターや男女共同参画センター「ウィングス京都」、市内大学等と連携しながら、以下の取組を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 性の多様性や性的少数者に関する理解を促進する取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) シンポジウムの開催 (2) 市民を対象とした講座の開催 (3) 性の多様性をテーマとした広報誌の作成・配布 (4) 四字熟語人権マンガの表彰に特別賞を設定 2 企業と協働した性的少数者に関する理解を促進する取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 企業向けパンフレットの作成 <p>企業は性的少数者の社会参加に重要な役割を担うため、先進的な取組を行っている企業の実例などを踏まえながら解説する冊子を作成し、市内企業等に配布する。</p> (2) 企業向け人権啓発講座の開催 3 コミュニティスペースの試行実施 <p>性的少数者の意見交換や経験の共有、交流などの「場」として、試行的にコミュニティスペースを開設する。</p> 			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都マラソン2021(第10回記念大会)に係る各種取組		
予 算 額	40,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担 当 課	市民スポーツ振興室(366-0314)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市民をはじめ、全国のランナーからの「京都でフルマラソンを走りたい」との熱い思いを受け、「東日本大震災復興支援」と「DO YOU KYOTO?マラソン」をコンセプトとして掲げ、「市民スポーツの振興」、「走る人、応援する人、支える人、みんなが主役」、「京都の魅力を国内外に発信」、「京都・日本の活性化」を事業の趣旨・目的として、平成24年3月に第1回大会を開催した。</p> <p>第8回大会となる「京都マラソン2019」（平成30年度開催）では、5年連続で6万人超の応募者の中から16,000人のランナーが参加。15,000人のスタッフ・ボランティア、そして過去最多となる53万人の応援者が参加し、経済波及効果は51億5,900万円、市税増収効果も1億2,000万円と過去最多となっている。</p> <p>ゴールデン・スポーツイヤーズ（2019～2021）に第10回を迎える好機を最大限活用し、「京都の財産」として京都マラソンの価値をより一層高めるため、第10回記念大会の準備を進めている。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>第10回大会となる「京都マラソン2021（令和3年2月開催予定）」については、記念大会と位置付け、ランナーはもとより、これまで京都マラソンを支えていただいた市民・ボランティア・関係者等の皆様に感謝し、チャレンジラン（仮称）の開催をはじめ様々な取組で大会を盛り上げていく。</p>			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東京マラソン2016」では、10回記念大会プロジェクトとして、大会ロゴのリニューアル、記念グッズの販売、ランナー応援ソングの制作等を実施。 ・大阪マラソン、神戸マラソンも令和2年度に10回大会を迎える。 			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	「ワールドマスターズゲームズ2021関西大会」開催準備		
予算額	140,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	市民スポーツ振興室(366-0168)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>ワールドマスターズゲームズ2021関西は、概ね30歳以上であれば誰でも参加できる、アジアで初開催の世界最大級の生涯スポーツの祭典であり、5月14日から30日まで、京都市をはじめとする13府県政令市で、35競技59種目が実施される。</p> <p>本市では、開会式のほか、陸上（トラック&フィールド）、バドミントン、空手道、スカッシュの4つの公式競技及び、オープン競技としてペタンク、ダブルダッチを開催する。大会開催を契機として、本市における生涯スポーツの普及・振興、「健康長寿のまち・京都」の推進を図る。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>令和2年度は、開会式、競技運営等の大会準備に取り組むとともに、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会や各競技団体、地域団体との連携をより一層図りながら、大会認知度の向上に向けた広報活動に取り組む。</p> <p>（主な活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等でのPR（大会マスコット「スフラ」による啓発、啓発イベントの実施） ・市民連携事業等による大会機運の醸成 ・運営マニュアルの策定等、開催に向けた具体的な準備 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	東京2020オリンピックの盛り上げとスポーツ機運醸成事業		
予算額	3,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	市民スポーツ振興室(366-0168)		
[事業実施に至る経過・背景など] 半世紀ぶりに国内で開催される東京2020オリンピックは、国民のスポーツに対する関心を大きく高める絶好の機会である。 競技が開催されない本市においても、より多くの市民に大会の臨場感や会場との一体感を感じ、市民のスポーツに対する関心を高める取組を実施する。			
[事業概要] 多くの市民が集まる商業施設等において、大会開催期間中にパブリックビューイングなどのイベントを実施する。また、オリンピックを盛り上げる各種団体の取組について組織委員会との調整を図るなど支援を行い、本市をあげてオリンピックを盛り上げる取組を進める。			
[参考(他都市の状況・事業効果など)] 他都市においても同様の機運醸成事業を実施予定。			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業		
予算額	67,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	市民スポーツ振興室(366-0168)		

[事業実施に至る経過・背景など]

東京2020オリンピック聖火リレーについて、京都府内においては令和2年5月26日、27日の2日間行われ、うち京都市内は2日目の5月27日にこの日の最終区間として実施される。

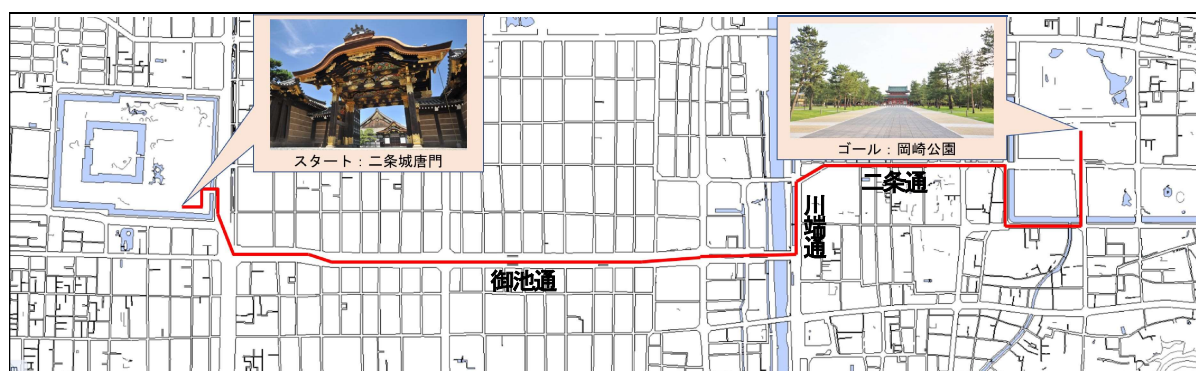
競技が開催されない本市にとって、聖火リレーは半世紀ぶりに市民がオリンピックを身近に感じることができる貴重な機会である。したがって、東京2020オリンピック組織委員会、東京2020オリンピック聖火リレー京都府実行委員会と連携して沿道やゴール地点で多くの市民が一体となって盛り上がり、文化、伝統、歴史など、本市の魅力を感じていただける機会となるように実施する。

[事業概要]

東京2020オリンピックを市民が身近に感じる機会の創出及び京都の魅力の世界への発信のため、組織委員会等と協力し、令和2年5月27日に、京都市内における聖火リレー及びゴール地点の岡崎公園で聖火の到着を祝うセレブレーションを実施する。

京都市内の聖火リレーは、二条城唐門を出発し、御池通、川端通、二条通を経て岡崎公園に至る約4kmのルート（下図のとおり）を走行する。

安全、確実に実施できるよう、組織委員会、京都府実行委員会及び京都府警と連携し、聖火リレーの沿道警備やセレブレーションの会場運営などを行う。




京都市内ルート図

[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]

東京2020オリンピック聖火リレーは、令和2年3月26日から7月24日のオリンピック開会式まで121日間をかけて全国47都道府県を巡回し、全国の857の市区町村を通過する。

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	西京極総合運動公園の計画的改修(市府協調事業)		
予算額	156,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	市民スポーツ振興室(366-0168)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>広域的な大規模スポーツ施設整備の推進を図るため、西京極総合運動公園、横大路運動公園及び三川合流地域等におけるスポーツ施設整備については、市府協調により取組を進めていくこととしている。</p> <p>西京極総合運動公園については、府内随一の広域・基幹的施設として、各種大規模大会にふさわしい機能・水準の維持、向上を図るため、たけびスタジアム京都（陸上競技場兼球技場）の大型映像装置、管理諸室・トイレ、照明設備及び観覧席屋根の整備等を順次進めることとしている。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>たけびスタジアム京都について平成28年度から令和2年度までの5年間で管理諸室やトイレの改修を行っている。</p> <p>これまで、各スタンドのトイレ等の改修を行ってきており、令和2年度はメインスタンド諸室及び南サイドスタンドのトイレの改修を行う。</p> <p>また、更なる競技・観戦環境の向上を目指し、ナイター設備のLED化及びメインスタンド観客席屋根の設置を進めるにあたり、整備手法の検討や整備に向けた事前調査を行う。</p>			
 <p>The diagram is a site plan of the West Kyogaku Sports Complex. It shows the layout of the stadium, including the main stand, back stand, and various service areas. Two specific areas are highlighted with yellow and red outlines, indicating the locations of construction work. One area is a long, narrow strip along the side of the stadium, and the other is a curved area near the bottom of the main stand. The text '工事箇所' (Construction Site) is written next to the first highlighted area. The stadium is labeled 'たけびスタジアム京都' (Takebi Stadium Kyoto) and '西京極総合運動公園' (West Kyogaku Sports Complex). Other labels include '天瀬川' (Amase River) and '京都市' (Kyoto City).</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p> <p>平成28年度 トイレ及び管理諸室の改修に係る実施設計 バックスタンド1階多目的トイレや北サイドスタンド1階トイレ改修</p> <p>平成29年度 メインスタンド2階トイレ改修</p> <p>平成30年度 バックスタンド1階トイレ改修</p> <p>令和 元年度 メインスタンド1階ロッカー室, シャワー室, ドーピング室, トイレ メインスタンド3階放送室, 指令室, ロイヤルボックス, 調整室, アナウンサー室改修</p>			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	水垂運動公園(仮称)整備における官民連携手法等導入可能性検討等		
予算額	20,000 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	市民スポーツ振興室(366-0168)		
[事業実施に至る経過・背景など] 水垂埋立地における水垂運動公園(仮称)の整備については、公園全体におけるできるだけ多くの運動施設と便益施設の導入を再検討するため、令和元年度は官民連携手法等導入可能性検討業務及びサウンディング型市場調査等を行い、新たなモデルプランの作成を行っている。			
[事業概要] 令和2年度は、水垂運動公園(仮称)整備の事業化に向け、令和元年度に検討しているモデルプランを基に事業手法の比較・検討を行うとともに、民間事業者の事業参入を促進させるための条件等の検討に着手し、事業の早期実現に向けて取組を進める。			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」														
予算額	287,901千円	新規・充実・継続の別	継続												
担当課	地域自治推進室 区政推進担当（222-3048）														
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>区民の自主的、自発的な活動を更に活性化させるため、地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区役所が柔軟かつスピーディにしっかりと支えていく協働の仕組みづくりとして、新たな予算システム「京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり『区民提案（*1）・共汗型まちづくり支援事業（*2）予算』」を平成24年度に創設し、本市のあらゆる施策のベースとなる「地域力」の強化を図る取組を推進してきた。</p> <p>また、「共汗型事業」については、平成29年度予算編成から、各区が配分額を超えて予算要求することを可能とし、最も市民に身近な区役所・支所が区民のニーズを踏まえた事業を実施する等により、区民の京都ならではの地域力を活かした協働型のまちづくりの取組を進めている。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>*1 区民提案型支援事業（85,105千円） 区基本計画に掲げる区のビジョンの実現に向けて区民が自発的、自主的に企画、運営する事業を募集し、審査会の選考により採択し、経費の一部を補助する。</p> <p>*2 共汗型事業（202,796千円） 区基本計画の実現や地域課題の解決に向けて、幅広い区民が参画する区民まちづくり会議における議論等を踏まえ、区民と区役所が共汗して取り組む区民ぐるみの事業を実施する。</p> </div>															
<p>[事業概要]</p> <p>各区における具体的な事業については、各区作成資料のとおり。</p> <p>○ 各区予算額（単位：千円）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">北 区 30,068</td> <td style="width: 33%;">東山区 15,799</td> <td style="width: 33%;">右京区 31,912</td> </tr> <tr> <td>上京区 20,584</td> <td>山科区 29,606</td> <td>西京区 31,340</td> </tr> <tr> <td>左京区 24,418</td> <td>下京区 19,197</td> <td>伏見区 46,369</td> </tr> <tr> <td>中京区 20,353</td> <td>南 区 18,255</td> <td>合 計 287,901</td> </tr> </table>				北 区 30,068	東山区 15,799	右京区 31,912	上京区 20,584	山科区 29,606	西京区 31,340	左京区 24,418	下京区 19,197	伏見区 46,369	中京区 20,353	南 区 18,255	合 計 287,901
北 区 30,068	東山区 15,799	右京区 31,912													
上京区 20,584	山科区 29,606	西京区 31,340													
左京区 24,418	下京区 19,197	伏見区 46,369													
中京区 20,353	南 区 18,255	合 計 287,901													
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]															

令和2年度 京都市予算案 事業概要

北区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	30,068千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室（432-1199）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>現北区基本計画の締めくくりとなる令和2年度は、「地域コミュニティの活性化」「安心安全なまちづくり」「はぐくみ文化の創造」「健康長寿のまち・北区の推進」「文化を基軸にしたまちづくり」の5つの重点事項に引き続き取り組み、加えて、SDGsの理念も踏まえ、「経済の活性化」の観点、さらには「環境問題へのアプローチ」の視点を大切に区政運営に努める。</p> <p>また、多くの区民の皆様のご意見を伺いながら、次期北区基本計画の策定に取り組む。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 北区民まちづくり提案支援事業</p> <p>現北区基本計画に掲げるまちの将来像を実現に向けて、引き続き、工夫を凝らしながら自主的なまちづくり活動をサポートしていく。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ 船岡山を活かした魅力スポットの創出 ※「西陣を中心とした地域活性化ビジョン」（H31.1）掲載事業 歴史的・文化的資源を有する船岡山やその周辺エリアの更なる魅力向上を目指す事業。 地元商店街を含め地域の方々と共に、さらなる活性化策等を展開する（2年目）。</p> <p>○ 【ニコニコ北っ子】子どもとはぐくむ地域の絆 様々な世代の住民の方々が、地域の子どもと顔の見える関係を築けるよう、相互に接する機会を創出する取組を学区単位で推進する事業（3年目）</p> <p>○ 「インターバル速歩」を活用した「健康長寿のまち・北区」の推進 京都産業大学と連携し、ロコモティブシンドローム（※）の予防や生活習慣病リスクの改善に効果があるとされている「インターバル速歩」の普及啓発に努める（3年目）。</p> <p>※運動器症候群。運動器の障害のため、移動機能に低下をきたした状態。</p> <p>○ 北区の地域力と民活力を生かした高齢単身者の個別避難計画作成事業（新規） 民生児童委員，老人福祉員，社会福祉協議会，自主防災会，地域包括支援センター，消防署等と連携し，高齢単身者（75歳以上の一人暮らし世帯で，介護支援専門員，相談支援専門員等による支援を受けている方を除く。）の災害に備えた「個別避難計画」作成に取り組む。</p> <p>○ 北区民まちづくり会議の運営 令和元年度の議論をベースに次期区基本計画案を取り纏め，パブコメ等を経て計画を策定。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

上京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	20,584千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室（441-5029）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>令和2年度を最終年次とする上京区基本計画に掲げる「絆で織りなす 住みよいまち上京」に向けたまちづくりの総仕上げに向けて、地域の皆様等との共汗による取組を更に進めていく。</p> <p>また、ポスト上京区140周年の新たなステージに向け、SDGs・レジリエンスの視点を基礎として、上京区140周年記念事業で磨き上げた地域力を活かし、文化を基軸に事業を展開する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 上京区民まちづくり活動支援事業 上京区基本計画の推進に向け、上京区民の自発的、主体的なまちづくり活動への補助を通して、地域コミュニティの振興と区民参加によるパートナーシップのまちづくりを進める。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ 上京型観光の創出～アプリを活用した魅力発信～（充実） 上京区内の社寺や、約300箇所にもものぼる石碑や説明板等の情報を集約したまち歩きに便利なアプリ「京都遺産めぐり（上京探訪）」の機能充実等を図る。</p> <p>○ 未来プロジェクト（新規） 上京区140周年で<u>地域企業やPTA等が主体となって実施された「上京de婚活」</u>や中学生自身が考えるまちづくり活動を地域の大人が応援する「<u>中学生プロジェクト</u>」の継続、発展等に取り組む。</p> <p>○ ゴールデン・スポーツイヤーズ！！～みんなで参加，目指せ健康長寿！～（新規） 「上京区民スポーツの集い」を「<u>ゴールデン・スポーツイヤーズ記念事業</u>」と位置づけ、普段競技をしない方や様々な方を対象にロコモ体操や体力年齢測定等を実施し、区民の健康増進に資する取組を実施する。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

左京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	24,418千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室（702-1021）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>左京区誕生90周年記念事業の成果を踏まえ、区民をはじめ、区内の行政機関や地域団体、大学、事業者、NPO、各種団体等の皆様による「オール左京」のまちづくりを更に推進し、地域課題の解決や左京のまちの魅力向上を図る。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>区民提案型支援事業の「左京区まちづくり活動支援事業」において、区民や団体、大学等の一層の参加と協働の推進を図る。</p> <p>共汗型事業について、文化力や防災力の向上を推進するとともに、左京区に関するすべての方々が互いにつながりながら、まちづくりの担い手として参加する「オール左京」のまちづくりの推進を図る新規事業に取り組む。</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 左京区まちづくり活動支援事業 区民の参加と協働によるまちづくりをさらに推進し、まちの魅力向上や地域課題の解決を図る。 <p>【共汗型事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>オール左京・みんなごとのまちづくり推進事業（新規）</u> 「オール左京まちづくり交流会」の開催や「左京・まちづくりパートナー」の認定制度の実施により、左京区に関わるすべての方がまちづくりの担い手として参加する「オール左京」のまちづくりを推進する。 ○ 左京・地域ゆかりの文化発信・継承プロジェクト 左京区の伝統行事、郷土料理等、地域ゆかりの文化の魅力を区内外へ発信するとともに、50年後、100年後まで継承されるよう取組を実施する。 ○ 災害に強い左京区づくり事業 左京区の防災力を向上させるため、学区ごとの避難所運営等に係る課題についての意見交換会や区民の防災意識の向上を図るための啓発物の作成、左京の山林の魅力と防災ワークショップの実施に取り組む。 			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

中京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	20,353千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室（812-2421）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>中京区基本計画を着実に推進するため、区民主体のまちづくり活動を支援する「区民提案型支援事業」や区民との協働で地域課題に取り組む「共汗型事業」を実施している。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>令和元年度に実施した区制90周年の成果を次の100周年につなぐべく、<u>地域企業等と連携し、次代を担う子どもや若者を中心とした学びの事業を展開するほか、現在策定中の次期基本計画の円滑な推進に向け、既存事業のブラッシュアップを図るとともに、地域と企業との連携強化や若者の起業促進等を目指した事業を実施する。</u></p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中京区民まちづくり支援事業 「中京区基本計画（第2期）の目指すまちの将来像」の実現のために取り組む、区民主体のまちづくり活動を支援する。 <p>【共汗型事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>次代につなぐ子ども・若者の学びプロジェクト（新規）</u> 区制90周年事業で取り組んだ「中京区の将来のまちづくり・ひとづくりにつながる事業」を深化させ、次代の中京区を担う子どもや若者を主な対象に、企業訪問ツアーや科学教室、スポーツ体験教室など、学びの事業を展開する。 ○ <u>知る・測る・やってみる～「京からはんなり・健康長寿のまち中京」推進プロジェクト（新規）</u> 「健康長寿のまち・中京」の実現を目指し、健康づくりの意識が低い若い世代を対象に、包括連携協定を締結した花園大学と連携した「食と健康フェア」等を実施する。 ○ 「中京マチビトCafé」開催などによる区民との共汗による区基本計画の推進事業 特定のテーマを議論する「中京マチビトCafé 学びと共鳴編」で「社会的企業」や「地域ビジネス」を取り上げ、地域と企業を積極的につなげることで連携を促すとともに、若者の新たなビジネスチャレンジを支援する。 ○ 「中京ベビーズサポートマーケット」プロジェクト事業（充実） 毎週、子育てをテーマに多彩な催しを実施している「ベビサポ広場」に加え、<u>まちづくりの担い手の中心となる子育て世代の学びを後押しするため、子ども連れでも気軽に区内の歴史や文化等が学べる「出張ベビサポ」を実施する。</u> ○ 「誰かのために何ができる」防災事業（充実） 各学区におけるより実践的な避難所運営訓練の実施に向け、<u>避難所で発生する様々な課題に対処するシミュレーションである避難所運営ゲーム（HUG／ハグ）の中京区版の作成・活用や、商店街と連携した外国人観光客等の帰宅困難者に対する防災対策、各学区におけるペット防災に対する啓発・訓練を展開する。</u> 			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

東山区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	15,799千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室（561-9105）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>「東山・まち・みらい計画2020」の総仕上げを図るため、「安心安全のまち東山」「子育て・教育のまち東山」及び「区内の大学との連携・協力」を区の方針の大きな柱とし、東山の魅力の発信や向上に取り組む施策を推進する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>区民提案型支援事業については、区の課題解決を図る4つのプロジェクトに取り組む。東山区まちづくり支援事業助成金では、新たに「<u>市民生活との調和を最重要視した持続可能な観光都市の実現</u>」に資する取組を支援する。共汗型事業については、<u>地域ぐるみで子どもたちを育む事業</u>をはじめとする新規・充実事業など計9事業に取り組む。</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ プロジェクト型事業</p> <p>1 <u>ユニバーサルツーリズムに関するプロジェクト（新規）</u> 東京オリパラやワールドマスターズゲームズ2021関西等に向け、「おもてなし学校」の開催や「車いす散策マップ」の作成等、誰もが楽しめるユニバーサルツーリズムを推進する。</p> <p>2 京焼・清水焼 目利きプロジェクト 京焼・清水焼の具体的な良さを消費者に伝えるため、技法や色彩形状、使い方のポイントを調査し、目利きが可能となる情報を発信する。</p> <p>3 高齢者支援・多世代交流プロジェクト 学生がDIYした空き家を高齢者の居場所として運営し、交流イベントの企画等を通して、居場所が多世代交流の場所となることを目指す。</p> <p>4 東山南部地域の魅力発信プロジェクト 地域活性化に向け、地域の各種催しの際に、区内の学生が中心となって魅力を発掘し、外国人や観光客に向けてその魅力を発信する。</p> <p>○ 東山区まちづくり支援事業助成金 <u>外国人観光客の急増等に伴い、子どもたちや高齢者等の日常生活の場面において発生する、マナーや混雑及び民泊等の課題に対応するため、「市民生活との調和を最重要視した持続可能な観光都市の実現」に資するきめ細かな取組を高補助率の事業として新たに支援するほか、東山区の課題解決、魅力向上等を図る活動を支援する。</u></p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ <u>地域ぐるみで子どもたちをはぐくもう！東山（新規）</u> 子育て家庭の孤立を防ぐため、子ども一人一人を大切にし、誰一人取り残さない取組として、民生児童委員と子育て家庭を繋ぐ取組の強化や、地域の子育て機関と連携したイベントを開催する。</p> <p>○ 皆でつくろう！健康長寿のまち・東山（充実） 区民の健康寿命延伸に向けて、関係機関・団体、地域住民等との協働により、区民の自主的な健康づくりを支援する。あらゆる世代が、日々の暮らしの中で健康づくりの習慣が持てるよう、ライフステージに応じた課題に対する健康教室等を開催する。</p> <p>○ <u>文化・歴史・人づくり（新規）</u> 東山が育ててきた地域力を次世代へつなげるため、東山区に根付く文化・歴史を楽しく学べる講演、史跡巡り等を実施し、参加者に地域への愛着を深めていただき、持続可能なまちの実現に向けた担い手づくりの契機とする。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

山科区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	29,606 千円	新規・充実・継続の別	新規
担 当 課	地域力推進室（592-3066）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>「区民提案型支援事業（山科“きずな”支援事業）」については、平成24年度からの8年間で、延べ281件を支援しているが、区民の手によるまちづくり活動を更に活発化するために、補助金の交付に加え、多面的な支援・協力を行う。</p> <p>また、「共汗型事業」については、平成29年度から実施している「やましな輝きプロジェクト」を中心に、引き続き地域課題の解決に向けた取組を行う。</p> <p>「山科ブランディング事業」においては、山科区での直近3年の転入超過トレンドを加速させるため、訪れて楽しめるまちというだけでなく、住みたいと思える魅力を市外に効果的に発信するなど、山科のイメージ向上と定住者の増加に繋がる取組を展開する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 山科“きずな”支援事業</p> <p>地域団体、NPO法人、大学等が行う自発的、主体的なまちづくり活動・事業を公募し、審査を経て補助金を交付する。これまでの8年間の成果を踏まえ、地域で活動する団体やグループ間の交流・連携の場となる交流会、成果報告会を開催すること等により、まちづくり活動の広がりや活発化を目指す。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ やましな輝きプロジェクト</p> <p>区民一人ひとりが、いきいきと輝き、活躍できる「住みやすい」「住み続けたい」まちの実現のため、安心・安全や子育て環境の充実などの観点から、「地域力を活かした空き家対策」「笑顔と花いっぱいプロジェクト」等の区民参加型の各種事業を実施する。</p> <p>こうした「住みやすいまち」の魅力を広く発信することにより、「住みたいまち」「住んでみたいまち」を目指していく。</p> <p>○ 山科区健康寿命延伸プロジェクト</p> <p>山科区の高齢化が進行する中、区内の高齢者が今後とも元気で暮らし続けるために、区民一人ひとりが健康維持に効果的な生活習慣を学び実践する“心”の健康寿命延伸体験事業を行う。</p> <p>また、見守りや支援を必要とする方及び、元気に生活している高齢者についても、住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けられるよう、山科区の強みである「地域力」による見守りネットワークに加え、新聞販売所によるネットワークを重層的に整備した高齢者支援ネットワークの運営を継続する。</p> <p>○ 山科ブランディング事業（新規）</p> <p>区民より募った山科で暮らすことの魅力や暮らしやすさ、まだ知られていない魅力的なスポットなどをコンテンツ化し、広く市外に、とりわけ転居検討者や子育て世代などに効果的に情報発信することで、定住人口の増加につなげる。</p> <p>また、山科区公式アプリ「やましなプラス+」において、多岐にわたる情報発信を可能にするため、交通情報発信機能（バスの接近表示機能）や双方向型情報発信機能を加える。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

下京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	19,197 千円	新規・充実・継続の別	新規
担 当 課	地域力推進室（371-7163）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 新たな賑わいを創出するとともに、文化芸術の創造・発信拠点として京都の活性化を牽引し、「住んでよし、働いてよし、訪れてよし、学んでよし」の下京区の実現に向けて、地域・企業・関係局と連携した事業を積極的に推進する。</p>			
<p>【事業概要】 【区民提案型支援事業】 ○ 下京区民が主役のまちづくりサポート事業 下京区をより暮らしやすく、魅力的なまちにすることを目的に、区民等の主体的なまちづくり活動を支援する。令和2年度は、社会課題・地域課題解決型のソーシャルビジネスの創出につながる活動に対して支援対象を拡大する。</p> <p>【共汗型事業】 ○ 東本願寺前市民緑地整備事業の機運醸成に向けた取組（新規） 関係局との連携の下、市民緑地の活用機運の醸成に向けたイベントやアンケート等を実施する。</p> <p>○ しもぎょう伝燈祭（新規） 下京区140周年記念事業として、多くの方々を魅了したライトアップイベント「しもぎょう伝燈祭」を、環境にやさしい、京都の新たな風物詩となるよう、地域ぐるみで発展させる。</p> <p>○ 下京ローカルSDGs推進事業（仮称）（充実） 区民や事業者、NPO、大学、関係機関等による連携・協働の場を設け、地域や社会が抱える課題について、オール下京の地域力による解決を図ることにより、地域レベルにおけるSDGsを推進する。</p> <p>○ 下京区ひきこもりを考える会の創設 ～誰も取り残されない社会～（仮称）（新規） ひきこもり問題に対する区民の理解を深めるとともに、複数の困難を抱え孤立しがちなひきこもり当事者や家族を、必要な支援につなげることを目的に、「ひきこもりを考える講演会」や「家族交流会」を開催する。 下京こころのふれあいネットワークの取組の一環として実施し、下京区内の地域団体や関係機関と連携し、身近な地域における寄り添い支援を強化する。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			



令和2年度 京都市予算案 事業概要

南区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	18,255千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室（681-3111）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>「ずっと住み続けたい、住んでみたい南区」という目標を掲げ、南区が誇る地域力（みなみ力）による地域の「つながり」を基軸に、安心して子どもを産み育てられるように子どもや若者の「はぐくみ」を大切に、健やかに生き活きと暮らせるような豊かな「いとなみ」のあるまちづくりを推進する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ みなみ力で頑張る！区民応援事業 各種団体、NPO等が主体となって取り組むまちづくり活動や地域主体の取組を支援する。 ○ 学区の安心安全ネット継続応援事業（学区の安心安全応援事業） 地域（自治会等）主体の安心・安全の取組を支援する。 <p>【共汗型事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ぐるみでの子育て支援の推進（充実） 安心して子育てができる地域づくりを目指し、<u>子育て支援ルーム「すくすくみなみ」の運営など子育て支援の充実を図るとともに</u>、区内にある大型商業施設を子育て支援の拠点に位置付け、関係機関や企業、地域ボランティアの力を結集し、「出張児童館」の実施や、育児教室、子育て相談事業の推進を図る。 ○ 健康長寿推進事業 誰もが健やかに暮らせるまち・南区を目指して、地域主体の健康づくりの取組に対する支援を充実するとともに、「かんたん・手軽に取り組める健康づくり」をテーマに、区役所だけでなく児童館や大型商業施設等を開催場所とした、幅広い年齢層に向けた多彩な健康づくりの取組を推進する。 ○ 南区情報ステーション事業 人と人、活動と活動など、地域の「つながり」のさらなる活性化を図るため、南区内でまちづくり活動をしている団体等の情報や区内の地域情報等を、動画を含む各 SNS で広く配信するとともに、南区のさらなる魅力発信を目的として、SNS フォトコンテスト及び写真講座等を開催する。 ○ 南区企業の“知”活用促進事業 ものづくりのまち・南区の特性を活かし、企業が持つ“知”の財産の魅力を分かりやすく紹介する区民向け講座や見学会を通じて、企業と区民の交流を促進する。 			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

右京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	31,912千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室（354-6466）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>「右京かがやきプラン（京都市右京区基本計画2020）」の着実な推進を図るとともに、次期右京区基本計画の策定を見据え、区民・事業者等とともに将来ビジョンとプロセスを共有しながら、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを推進する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 右京区まちづくり支援制度</p> <p>区民の自発的・主体的なまちづくり活動を資金面、広報面で支援するとともに、団体同士のつながりづくりや持続的な活動をテーマとした講座の開催等を通じて、活動の伴走型支援を行う。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ <u>区民がまちに関わるきっかけづくり・活躍できる場づくり（新規）</u></p> <p>次期右京区基本計画や令和3年度の区制90周年を絶好の機会と捉え、区民一人ひとりが自分にとっての幸せな暮らしを思い描き、その実現に向けて日々の意識や行動を変えていく「自分ごと」のまちづくりと、想いを共有する人がつながり一緒に取り組む「みんなごと」のまちづくりを進めるための機会を創出する。</p> <p><右京かがやきミライ会議></p> <p>区民の自由な参加のもと、一人ひとりが実現したい未来に向けて話し合い、さらに、右京での暮らしをもっと楽しむために、そこで出会った仲間と未来の実現に向けた行動を起こしていく場をつくる。</p> <p>○ 「健康長寿のまち右京」推進（充実）</p> <p><u>新たに専門家派遣や測定機器等の貸出による地域主体の健康づくりの取組支援を行う</u>ほか、健康づくりフェスタや右京健康御朱印帳をはじめ、企業や大学等と連携した、区民の健康づくりの機会を創出する。</p> <p>○ 右京子どもの未来応援事業（充実）</p> <p><u>新たに情報誌の発行等により子育て情報の発信を強化する</u>ほか、地域の子育て世帯への見守り等を行う「子どもはぐくみサポーター」のスキルアップ実践講座や、健診の待合の機会等を活用した親子の交流事業を行う。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所・洛西支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予 算 額	31,340 千円	新規・充実・継続の別	新規
担 当 課	西京区役所地域力推進室（381-7157） 洛西支所地域力推進室（332-9185）		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>西京区基本計画で掲げたまちづくりを実現するため、区民主体のまちづくり活動を支援する「区民提案型支援事業」と、区民との協働でまちづくりの活性化や地域課題を解決する「共汗型事業」を実施している。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 西京区地域力サポート事業</p> <p>西京区基本計画に掲げる地域コミュニティの活性化と区民との協働によるまちづくりの実現に向け、区内で活動を行う団体が自発的、自主的に企画・運営する事業を募集・選考のうえ、経費の一部を補助する。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ レッツ自治活動！大作戦（新規）</p> <p>市内11区の中で最も低い自治会加入率の大幅な向上を目指し、様々な媒体を用いた広報の充実を図ることで、広く区民に地域自治・住民自治に関心を持ってもらう。また、モデル学区を設定し、ワークショップを通じた実態把握・課題抽出を行い、地域実情に応じた効果的な対策を検討し実践する。</p> <p>○ 西山文化魅力発信プロジェクト（新規）</p> <p>大枝の酒呑童子をはじめとした歴史文化からエアリアル（空中演技）などの新しい文化まで、様々な文化を活用したイベント開催などを通じて、観光振興や交流人口、定住人口の増加を図る。また、近隣都市とも連携を図り、「西山」の歴史的・文化的魅力を、自転車等を活用して楽しんでいただく仕組み作りを検討する。</p> <p>○ 西京区の魅力と文化の発信～西京区認知度 up 大作戦～</p> <p>区内外から広く人が集まる阪急嵐山駅、松尾大社等で、西京区の寺社や観光地、そして、まだ注目されていない埋もれた文化財やその土地の魅力などを紹介することで、西京区の魅力と文化を発信し西京区の知名度の向上に努めるとともに、市内観光の分散化に寄与する。</p> <p>○ 未来の西京まち結び～みらまち結び～</p> <p>「やりたいことを実現している人が京都で一番多い区に！」を目指して、カフェ事業（まちづくり活動等に関心のある方が意見交換を行う場）で膨らませたアイデアや個々の思いを、「見える化」する手法や実例をワークショップ等で紹介し、「なりたい自分」や「やりたいこと」を実現できるよう支援を行うことで、起業や事業化につなげる。</p> <p>○ らくさいさくら祭</p> <p>「西山文化と桜」をテーマにしたエアリアル（空中演技）等を夕刻に開催するなど、タカシマヤをはじめとした地域の事業者等と連携し、小畑川に咲き誇る市内有数の桜並木を区内外に広くPRすることで、観光振興、交流人口の増加を図る。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和2年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所・深草支所・醍醐支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	46,369千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	伏見区役所地域力推進室（611-1295） 深草支所地域力推進室（642-3125） 醍醐支所地域力推進室（571-6105）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>伏見区では、平成24年度に創設した当予算を活用し、伏見区基本計画に掲げる伏見区の将来像の実現に向けた区民主体の取組を支援している。</p>			
<p>〔事業概要〕</p> <p>「伏見区基本計画」の最終年度となる令和2年度は、計画の総仕上げを図りつつ、社会状況の変化にも適切に対応し、「次期伏見区基本計画」につなげていく。また、文化を基軸に地域文化力やレジリエント・シティ、国連が提唱するSDGsといった理念を区民の皆様と共有し、「誰一人取り残さない持続可能な伏見のまちづくり」を推進する。</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 伏見区区民活動支援事業（充実）</p> <p>伏見区内でまちづくり活動を行う団体が実施する事業のうち、伏見区基本計画の推進に資するものに対して支援を実施する。令和2年度は、新たに活動団体への伴走支援の取組として、専門家派遣を行うとともに、活動情報を発信するSNSのページを制作する。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ おかげさまで10周年「伏見連続講座」（充実）</p> <p>区内の大学、地域のまちづくり団体が自ら企画・運営等を行い、伏見の奥深い魅力的な歴史や地域資源を学び、育み、伝える講座やまち歩きを開催を応援する。令和2年度は、参画団体と連携した「伏見連続講座10周年記念フォーラム（仮称）」を開催するほか、更なる講座の充実を図る。</p> <p>○ 伏見地域の文化・観光振興（充実）</p> <p>区民生活との調和を最重要視し、観光消費の効果などが、地域に還元される持続可能な観光振興を推進するため、伏見区にゆかりのある人自らが「語り部」（ガイド）となり区内を案内する「伏見 文化・観光の語り部」の新たなモデルコースの検討など更なる進化を図る。</p> <p>○ 深草の魅力「知って」・「感じる」体感プロジェクト（新規）</p> <p>大学や交通事業者、不動産会社等と連携し、名所や店舗、地域イベント等を巡るツアーを実施し、「深草の暮らし」を体感していただきながら、深草の魅力や優れた住環境を発信し、移住の受け皿として空き家の活用を促進するなど、「住む・住み続けるまち」を目指す。</p> <p>○ だいが文化活動応援隊（充実）</p> <p>地域のまちづくり活動の一層の活性化と文化力の向上を目的として、文化活動のノウハウやスキルをもつ「だいが文化活動応援隊」を、地域のまちづくり活動の場につなぐ取組を引き続き実施するとともに、子どもたちを対象とした文化体験プログラムの充実などによる取組拡大を図る。</p>			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			